

# 病虫害防除技術情報第16号

令和3年12月1日  
三重県病虫害防除所

**これから年内が耕起によるスクミリンゴガイ対策の好適期です。  
越冬量を減らし来春以降の被害軽減につなげましょう。**

1. 対象作物                      水稻

2. 対象病虫害名                スクミリンゴガイ

3. 発生状況

- (1) 病虫害防除所の6月の巡回調査圃場ではスクミリンゴガイの発生圃場率は8.5%（過去7か年平均4.9%）と多い状況が続いています。
- (2) 移植直後には被害がなかったほ場でも、7月には成貝や卵が確認された事例が多くあります。
- (3) 3か月予報（11月24日名古屋地方気象台発表）では12月の気温は平年並か低いとされ、年内の耕起による高い効果が期待されます。

4. 防除対策

- (1) 耕起防除は2回以上行いましょう。
- (2) 耕起1回目は、①厳冬期前の田面が硬いときに、②ピッチを小さくし低速で土壌を細かく砕くようにすることがポイントです。深さ6cm程度の浅耕で効果が高いです。
- (3) 耕起2回目は、①厳冬期（1～2月）に、②慣行の設定で走行し、作土深の確保に努めましょう。
- (4) 春以降の対策とセットで体系的に防除を行うことで一層効果を高めることができます。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。